

前線における野村ダム洪水調節状況について

平成18年4月10日～11日の前線では、野村ダム流域で流域平均総雨量14.5mm（時間最大15mm）の降雨があった。この洪水に対して、野村ダムでは洪水調節を行い下流の水位低下を図った。

平成18年4月12日
国土交通省四国地方整備局
野村ダム管理所

問い合わせ先

国土交通省 野村ダム管理所
管理所長 / 則 勢（内線201）
管理係長 / 岡田浩孝（内線332）
TEL / 0894-72-1211

平成18年4月11日(前線)における野村ダムの洪水調節状況

肱川水系肱川においては、野村ダムで30m³/s (最大流入量328m³/s 放流量298m³/s)を調節しており、約81千m³の洪水を貯留し、下流の水位低下に寄与。

野村ダム諸元(非洪水期)
 総貯水容量 : 16,000千m³
 洪水調節容量 : 800千m³
 利水容量 : 11,900千m³
 堆砂容量 : 3,300千m³

注)本資料に関する数値は速報値であるため、精査の結果変更もあり得ます。

